神戸市室内管弦楽団
Kobe City Chamber Orchestra
第175回定期演奏会

彼方へ響きわたる調べ

高らかに、ひそやかに、時空を超えて

ヴァイオリン／石上真由子

指揮／鈴木秀美

ハイドン：交響曲 第31番「ホルン信号」
Haydn:Symphonie Nr.31 in D dur, Hob.I:31, "Mit dem Hornsignal"
バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第1番
Bartók:Violin Concerto No.1, BB 48a
ドヴォルザーク：交響曲 第8番
Dvořák:Symphony No.8 in G Major, Op. 88

©Natsumi Kinugasa
©Masatoshi Yamashiro

管弦楽／神戸市室内管弦楽団

2026 11/7（土）15:00開演（14:15開場） 神戸文化ホール 大ホール

［全席指定］S席 4,000円　A席 2,000円　U25（25歳以下）1,000円（税込）

●神戸文化ホールプレイガイド／078-351-3349（10:00～17:00 月曜休業※祝日の場合翌平日）
●神戸文化ホールオンラインチケット／https://www.kobe-bunka.jp/hall/
●ローソンチケット／（Lコード:51751）https://l-tike.com/
●チケットぴあ／（Pコード:330-349）https://t.pia.jp/
●神戸国際会館プレイガイド／078-230-3300（10:00～18:00 火曜休業※12:00～13:00休業）

発売日
神戸文化ホール友の会先行 7/10（金）
一般発売 7/17（金）

※U25チケットのお客様は、入場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要です。
※やむを得ず出演者を変更する場合があります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

【主催】（公財）神戸市民文化振興財団　【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））｜独立行政法人日本芸術文化振興会
【お問い合わせ】（公財）神戸市民文化振興財団／078-361-7241（日・月・祝日休業）https://www.kobe-ensou.jp

文化庁

今回のプログラムは、ハイドン、バルトーク、ドヴォルザークを「中央ヨーロッパ」という視点で結ぶものです。ハイドンが長年仕えたエステルハージ侯の離宮《エステルハーザ》は、現在のハンガリー領に位置します。そこから時代を越えて、同じハンガリーに生まれたバルトーク、そして隣国チェコのドヴォルザークへと、中央ヨーロッパに息づく音楽のつながりをたどります。
若きバルトークの繊細な内面を映し出すヴァイオリン協奏曲第1番では、バロックから近現代まで幅広いレパートリーで活躍する石上真由子がソリストを務めます。中央ヨーロッパの音楽がもつ陰影と抒情が、石上の鋭敏な感性によってどのように響くのか、ご期待ください。
後半は、親しみやすい旋律で広く知られるドヴォルザークの交響曲第8番。しかしこの名曲にも、近年出版された楽譜によって、従来の版とは異なる部分が多く見えてきました。鈴木秀美は今回、そうした楽譜上の違いにも丁寧に向き合いながら、この作品に新たな光を当てようとしています。
よく知られた名曲だからこそ聴こえてくる、新しい響きにもぜひご注目ください。

指揮／
鈴木秀美
Conductor:
Hidemi Suzuki

神戸生まれ。チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、後進の指導と活動は多岐にわたりサントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。主要な古楽団体でメンバーや首席奏者を務めた。2001年《オーケストラ・リベラ・クラシカ》を創立し、自身のレーベル《アルテ・デラルコ》からその録音や室内楽等をリリース中。国内外のオーケストラに指揮者及びソリストとして客演。著書に「『古楽器』よ、さらば!」(音楽之友社)、「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」(東京書籍)、「通奏低音弾きの言葉では、」(アルテス・パブリッシング)などがある。現在は神戸市室内管弦楽団音楽監督、山形交響楽団首席客演指揮者、東京音楽大学チェロ科客員教授を務めている。楽遊会弦楽四重奏団メンバー、日本ベートーヴェンクライス副代表理事。また、神戸市室内管弦楽団(設立当時は神戸室内合奏団)の創立メンバー(副指揮者・首席奏者)でもある。

ヴァイオリン／
石上真由子
Violin:
Mayuko Ishigami

日本音楽コンクール等、国内外で受賞多数。題名のない音楽会、NHKクラシック音楽館等メディア出演多数。東響、都響、読響、日本フィル、新日本フィル、京響、仙台フィル、大響、大阪フィル、関西フィル、ブラショフ国立響、愛知室内、山響など、内外で多数のオーケストラと共演。長岡京室内アンサンブル、アンサンブル九条山メンバー。ポラリス国際音楽祭アドバイザー。Ensemble Amoibe主宰。Music Dialogue、CHANEL室内楽、おんかつ支援アーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティック・クラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤堂音楽賞受賞。日本コロムビア、ALTUS、キングレコード、ワオンレコードよりCD好評発売中。令和6年度京都府文化賞、令和7年度京都府あけぼの賞受賞。2025年8月、キングレコードよりCD「他人の顔」(ピアノ:江崎萌子)をリリース。
www.mayukoishigami.com

神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981年、神戸市により「神戸室内合奏団」として設立。実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。これまでにゲルハルト・ボッセや岡山潔など音楽界の巨匠を音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねてきた。2018年より管楽器奏者が加入したことを機に、「神戸市室内管弦楽団」と改名。2021年には世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会の他にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通して地域の抱える課題に取り組むなど、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。神戸文化ホールの専属団体。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

【コンサートマスター】高木和弘
【ヴァイオリン】西尾恵子　森岡 聡　井上隆平　黒江郁子　幸田聡子　谷口朋子　中山裕子　二橋洋子　萩原合歓　前川友紀　佐藤一紀　大海佳之　西川茉利奈　農頭奈緒　安井優子
【ヴィオラ】成田 寛　中島悦子　横井和美　上川忠昭 他
【チェロ】伝田正則　山本彩子 他
【コントラバス】長谷川順子　デピューリー雪乃 他
【フルート】清水信貴 他
【オーボエ】岡山理絵　葛城裕也　田中実咲
【クラリネット】上田 希　山根孝司
【ファゴット】赤土仁菜　首藤 元
【ホルン】根本めぐみ　小椋順二　塚田 聡　蒲生絢子
【トランペット】神代 修　下村伊都
【トロンボーン】岡本 哲　西村菜月　赤井寛延
【チューバ】濱口雅寿
【ティンパニ】菅原 淳
【パーカッション】森山拓哉 他
【ハープ】松村衣里　松村多嘉代

※2026年7月現在の情報です。

第175回定期演奏会
関連企画

知って楽しい! クラシック音楽講座

10/3(土)
10:15〜11:45

講　師　石上真由子
会　場　神戸市立中央区文化センター 多目的ルーム(1階)
受講料　1,200円　第175回定期演奏会のチケットをお持ちの方は500円!
申込先　神戸市立中央区文化センター 078-381-7899(受付時間 9:00〜17:00)

8月頃受付開始予定!

U25チケット
25歳以下(小学生以上)のお客様は1,000円で鑑賞できます。
※来場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要。

神戸のびのびシート
神戸市在住の小中学生をコンサートに無料ご招待! 当団公式サイト「神戸のびのびシート」専用ページからご応募ください。

無料託児サービスのご案内
【対象】1歳〜就学前まで
【申込期間】2026年10月23日(金)までに、下記へお申し込みください。
【申込先】(公財)神戸市民文化振興財団　TEL 078-361-7241(9:00〜17:30 ※日・月・祝日休業)

神戸市室内管弦楽団公式YouTubeでは、過去のコンサート映像や公演をより楽しんでいただくためにプレ解説動画を配信しています。

YouTube　Facebook　X　Instagram

神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2-2
●神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分(新神戸駅より3駅7分)
●神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
●JR「神戸駅」徒歩10分(大阪駅より新快速で25分)
●神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分